



西板持町
網野 結菜ちゃん（1歳1カ月）
やんちゃ娘の笑顔に癒されます♡



宮甲田町
太田 篤杜ちゃん（1歳2カ月）
初めてのプールでご機嫌さん♪



寺池台
小田原 維斗ちゃん（1歳）
初ケーキ。
良い表情でたくさん食べたよ。

みんなの広場

宛先

584-8511

住所・氏名（ふりがな）・電話番号

富田 林市役所
情報公開課広報係

常盤町1番1号

わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真に、**メッセージ（20字程度）**を添え、**住所**、保護者とお子さんの**名前（ふりがな）**、**撮影時の年齢（月齢）**、**電話番号**を記入し、封書で左記の宛先まで応募してください。また、市ウェブサイトからご応募いただけます（右図のQRコードから応募ページにアクセスできます）。



なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。



向山 たみ江さん（7月10日生まれ）



石田 スガ子さん（7月30日生まれ）



山下 花子さん（8月2日生まれ）

誕生日を迎えられた皆さんを訪問しました。

寿 100歳 おめでとーございます！ 寿

声の広報、点字広報のご利用を

市では、毎月の広報とんだばやしの主な内容を、往復90分のカセットテープやデイジー用録音CDに吹き込んだ「声の広報」を発行しています。目の不自由な人など、文字の読めない人がご近所、知人にあられましたら、この制度を知らせてあげてください。

費用 無料
申し込み 情報公開課（内線326）へ

市社会福祉協議会では、毎月の広報を点訳した「点字広報」を発行し、希望者に郵送しています。また、市役所1階総合案内窓口にも備え付けていますので、ご利用ください。

問い合わせ 市社会福祉協議会 ☎(25)8200

川柳・短歌は、それぞれ別のはがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限りです。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

11月号の「短歌」は9月30日（日）、平成31年1月号の「川柳」（宿題「実」）は11月30日（金）までに応募（いずれも必着）してください。宛先は左上記をご覧ください。

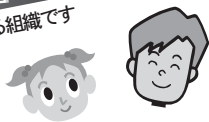
俳句のコーナーは、都合によりしばらくの間、休ませていただきます。毎月お楽しみみの皆さんにはご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

※10月号は「川柳」を掲載します（なお、応募は8月31日で締め切りました）。

俳句

げんき!NPO

NPOとは営利を目的とせず社会活動をする組織です



地域で取り組む「元気なまちづくりモデル事業」

第3期元気なまちづくりモデル事業として、単一町会（自治会）の枠を超えたより広い地域の住民が連携し絆を深めることで、地域の課題解決や活性化をめざそうとする取り組みが、4つの地区で始まっています。

今回、それぞれの地区での取り組みを紹介しますので、同モデル事業が実施されている地域にお住まいの人は、積極的に参加してみたいかがでしょうか。

彼方上地区 今年で3回目となる「かかしフェスティバル」を引き続き開催するとともに、新たな取り組みとして「河川敷の花の空間づくり」「地域の写真展」「地域の体験農園」の開催を予定しています。

これらの取り組みを通じて歴史や伝統などを次世代に伝え、住民自身が身近にある四季折々の豊かな自然や受け継がれた歴史を再発見し、発信することで、人が訪れ、人がふれあう超一流の田舎町をめざします。

喜志西地区 6町会と小学校や保育園、社会福祉法人が連携し、引き続き「夏祭りフェスタ」や「歌の広場と桂吉弥」「グラウンドゴルフ」「居場所づくり」「ぼっちら教室」「防犯パトロール活動」を開催するとともに、新たな取り組みとして「地域食堂」を開催し、より広く地域内で交流と連携を図りながら、「思いやりの心」を育む地域をめざします。

明治池地区 「すこやかネット明治池」が実施してきた「防災活動」や「クリーン作戦」「夏まつり」を引き続き開催することで、次世代ボランティアの人材育成を図る仕組みをより充実させます。

また、新たに「まちづくりを考えよう委員会」を設置し、まちの良いところをさらに伸ばしながら新たな課題を見つけるための自由な議論を活発にすることで、これまで以上に、世代を超えた課題解決へのアプローチを推進します。

寺池台地区 3町会などが連携し、地域の休耕農地を活用した共同農園事業の取り組みを実施します。共同農園での協働作業を通して、地域住民の交流を促進し、健康増進や生きがいづくりなどの地域活性化への寄与をめざします。また、地域交流として、幼稚園児や高齢者福祉施設入所者の農業体験への協力なども実施します。

市民協働課（内線 473）

ズームアップ！
健康づくり

知っておきたい肺がん
「元気でも」「もしも」のため
です がん検診

がん検診を受けたことがある人もない人も「もしも」のために定期的に検診を受けましょう。

●日本人に多い肺がん

日本人のがんによる死亡数の第1位は肺がんであり、毎年約7万4000人が亡くなっています。男女別で見ると、男性では第1位、女性でも第2位の多さとなっています。

●肺がんの原因

肺がんの最大の原因は喫煙です。たばこの煙には約70種類の発がん物質が含まれており、たばこを吸わない人に比べて、吸う人は、男性では約4.5倍、女性では約2.3倍、肺がんで死亡するリスクが高くなるといわれています。

また、たばこの煙の有害物質は、吸う人の口を通して吸い込まれる「主流煙」だけでなく、火の付いたたばこから出る「副流煙」にも多く含まれており、たばこを吸わない人でも副流煙を吸うことで、肺がんのリスクが上がるということが報告されています。たばこを吸わない人も副流煙の有害性を知り、たばこの煙を吸わないようにしましょう。

●肺がんの症状

早期の肺がんでは、自覚症状がないことがほとんどです。

ただし、種類によっては、咳や痰、風邪に似た症状が続いたり、血痰がみられたりする場合もあります。

●肺がん検診

肺がん検診では、胸部エックス線検査を実施します。エックス線で肺にがんの影がないかを調べる、いわゆるレントゲン検査です。

結果が要精密検査と判定された場合は、すぐに精密検査を受けてください。

●精密検査

CT検査は、エックス線で体の内部（断面）を連続的に撮影する検査です。

気管支鏡検査は、肺がんを正確に診断するために、口または鼻から喉を通して、気管支鏡を気管や気管支の中に挿入して内腔を観察したり、組織や細胞、分泌物などの検体を採取したりする検査です。

早期に発見すれば、体への負担が軽い治療で済む可能性が高くなります。

●肺がん検診を受けるには

本市では40歳以上であれば、4月～翌年3月の年度内に1回、肺がん検診を無料で受けることができます。

詳しくは、広報16ページをご覧ください。

健康づくり推進課（☎28）5520